

七歩川再生プロジェクト ～きれいな川を取り戻そう～

川を浄化し、
“遊べる川に変身!”
を夢見る子どもたち

活動概要

しもごり

下郡小学校では過去に、七歩川再生プロジェクトとして、小学校の近くを流れる七歩川で、美化活動や水質浄化活動などを行っていました。

3年目の活動となる平成18年度は、水生生物調査や川の汚れ調査などにおいて、「七歩川を調査したい」「自分たちが遊べる川にしたい」という思いが、強く見られる活動となりました。

学校名	大分県大分市立下郡小学校
活動場所	七歩川(学校の目の前を流れる川、徒歩で移動)、教室、公民館
対象学年	4年生
科目	総合的な学習の時間の活動として実施
所要時間	年間を通じた活動(全30時間)



学習のねらい

本学習は、下郡小学校の4年生が過去に取り組んだ「七歩川プロジェクト」の3年目の活動として、総合的な学習の時間に実施したものです。

①「七歩川(再生)プロジェクト～(遊べる)きれいな川を取り戻そう～」をタイトルに掲げ、七歩川の清掃美化活動、水質調査、水生生物調査、浄化方法調べを通して、

ふるさとの川をきれいにしたい、遊びたいという思いを強める。

②七歩川の調査活動でわかったことを学習発表会や看板作り、ビラ配布などを通して地域に発信し、地域住民に川をきれいにしたいという思いをもたせ、住民運動につなげていくきっかけづくりをする。

実践例

活動を行うにあたって



P プログラム内容

活動1 1学期	①七歩川再生プロジェクト引き継ぎ式 ②上流～下流の見学会
活動2 2学期	①七歩川の見学会 ②ほかの川(神原川)の見学 ③水をきれいにするための活動 (ゴミ調査、川の汚れ調査、生き物調査、水の浄化方法調査、意識改革の啓発活動) ④中間発表会 ⑤廃油を利用したせっけんづくり

活動3
3学期

- ①地域の人々への発表会
- ②明治大分水路の見学



活動時期

・年間を通じた活動



参加した児童数

・4年生 124名



活動場所

- ・七歩川（学校の目の前を流れる川）、教室、公民館



使用した道具

- ・水質調査の道具（簡易水質測定キット、バケツ）
- ・生物調査の道具（タモ網、バケツ）

STAFF

スタッフの手配

大分土木部事務所、自治委員、七歩川をきれいにする会、明治大分水路の管理組合など、多くの人々に協力いただきました。



現地下見

活動場所の下見を行い、大分土木事務所のご尽力で、道路から川に下りやすいように階段を設置してくれました。また、学習しやすいように草刈りをしてくれました。

活動内容



活動1 ～1学期の活動～



七歩川の様子



七歩川マップ

① 七歩川再生プロジェクト引き継ぎ式

- 活動のはじめに、子どもたちに七歩川を意識させるため、「七歩川プロジェクト引き継ぎ式」を行いました。
- 引き継ぎ式では、昨年度七歩川での活動をした5年生に説明をしてもらったり、引き継ぎのあいさつをかわしたりして、七歩川プロジェクトに取り組むきっかけにしました。

② 上流～下流の見学会

- 5月に全員で、七歩川を下流から上流まで歩いて見学しました。
- 七歩川を見ることで、児童からは「汚いな」「くさいな」「ゴミが多いな」「水が濁っているよ」といった感想が聞かれました。
- 見学後、上流部にある整備された空間で、自由に遊びました。
- この経験を活かして、子どもたちに「七歩川マップ」を描かせました。多くのゴミや汚水のある現実を描く子どもがいる一方、七歩川の理想とする姿を描く子どもも多く見られました。



活動2 ～2学期の活動～

① 七歩川の見学会

- 1学期の復習という意味も含め、「七歩川は本当に汚れているのか」と投げかけました。1回の見学だけでは七歩川の課題を見つけることが難しいと気づき、2回目の見学会を行うことにしました。
- 2回目の見学会では「油がたくさん浮いている」「においが気になる」といった意見や、「生き物が意外といた」「汚れていないように見えるところもある」といった意見があがりました。



① 神原川の見学風景



② 七歩川に浮かぶゴミ——自転車などの粗大ゴミ



③ 水質調査の様子



④ 生物調査の様子



⑤ EM菌実験の様子

② ほかの川（神原川）の見学

- 10月に、名水が流れていることで知られる神原川に見学に出かけました。神原川は、天然の部分と、河川公園として利用できるように整備された部分の両面をもつ川であり、子どもたちは、生き物を探したり、水につかったりしていました。
- 神原川を見ることで、子どもたちは「七歩川も神原川のような川にしたい」という具体的な目標をもつようになりました。

③ 水をきれいにするための活動

- 「七歩川を神原川のようにしたい」という願いから、子どもたちは五つの課題を考え、解決するための調査や活動を行うことにしました。
- 課題は「ゴミ調査」「川の汚れ調査」「生き物調査」「水の浄化方法調査」「意識改革の啓発活動」です。それぞれの活動は次のとおりです。

○「ゴミ調査」グループ

- 七歩川に浮かぶゴミを調べたり、拾ったゴミを分別したりして、ゴミの内訳を調べました。橋の付近にゴミが多いことや、ビニール袋が一番多いことがわかりました。粗大ゴミもありました。
- ゴミ調査の結果を表やグラフに表し、ゴミの多さや種類が七歩川の汚染につながるのを、ゴミを捨てないで欲しいと訴えました。

○「川の汚れ調査」グループ

- 七歩川にある八つの橋で水質調査を行いました。
- 水は橋の上からバケツでくみ揚げ、簡易水質測定キットを使って水質を測定した結果、水は非常に汚いということがわかりました。
- また、七歩川の水と、水のきれいな神原川の水質を比べ、七歩川の水質が汚いことを訴えました。

○「生き物調査」グループ

- 七歩川で生き物調査を行いました。
- 生き物がどのような場所にすむのか調べたり、神原川にすむ生き物を調べたりして、七歩川の汚れがひどいことを訴えました。

○「水の浄化方法調査」グループ

- 水をきれいにする方法を調べ、ろ過装置をつくりました。実際に調べましたが、水質はあまり変わりませんでした。
- また、川の水の汚れた成分を食べて分解する力を持つEM菌を使い、EM菌発酵液をつくりました。EM菌と米のとぎ汁を混ぜてつくったこの液を、何軒かの家庭に配りました。

○「意識改革の啓発活動」グループ

- 「地域に住む人々に七歩川をきれいにする呼びかけをしたい」という思いから、七歩川について住民にアンケート調査を実施したり、チラシや看板づくりをしたりしました。

④ 中間発表会

- 11月に行われたファミリーPTAで、全校の児童と保護者や地域の方に、各グループの調査活動を発表しました。

⑤ 廃油を利用したせっけんづくり

汚染の要因である食用油を適正に処理する方法として、大分県消費生活センターの方を講師として招き、廃油（使用済み食用油）を利用したせっけんづくりを行いました。



活動3 ～3学期の活動～



活動発表会

① 地域の人々への発表会

公民館で開催されたNANBUせせらぎスクールで、保護者、地域の方々、3年生の児童にポスターセッション方式で活動結果を発表しました。

② 明治大分水路の見学

●七歩川に流れ込む明治大分水路の見学に行き、水路がどのようにしてできたのかを、管理者の方から聞きました。子どもたちは、七歩川が昔から地域の人々の生活に根ざしていたことを学びました。

まとめ



活動による効果

- ①国語科における発表を中心とした「話す・聞く」領域や発表原稿の作成をした「書く」領域に関する活動，社会科におけるゴミ問題・上下水道の学習，理科における水生生物の学習，図工科におけるマップ作りと，各教科学習で学び身につけたことが，総合的に生かされた取り組みができました。
- ②水質浄化に向けて，自分たちにできることや地域の方々に呼びかけていくことを考え，多くの情報を地域に発信できた。浄化の一翼を担えるという自信と，七歩川を大切に自慢となる川にしたいという気持ちをもつことができました。



関連する単元

- ・3年生－理科「身近な自然の観察」
- ・4年生－社会「身近な地域や市（区・町・村）の特色ある地形」
- ・共通－総合的な学習の時間



子どもたちの広場

七歩川には、油がたくさん浮いています。だから透明度も低くて、流れがほとんどありません。それで汚なっています。私たちは、10月12日に神原川に行ってきました。そこは流れがあって透明度も高く遊べる場所です。七歩川もそういうふうになりたいです。



先生の声

平成18年度は、七歩川プロジェクトを始めて3年目ということで、児童の「七歩川を調査したい」「自分たちが遊べる川にしたい」という思いが強く、意欲的に活動を行っていた。休日に自主的に調査に行く子どもや、生き物調べをする子どもも出てきた。また、活動を通して川の汚れをより身近に感じられたことで、地域の人々に伝えたいという思いもより強まってきた。

生き物調べのグループは、今年度川に設置された階段を使って七歩川に下り、川の水を掘ったり水に網を入れて生き物を探したりするなど意欲的に活動することができた。昨年度は見つからなかった生物を見つけ、川の水にはきれいな場所ときたない場所が混在していることがわかり、学習の深まりが見られた。

